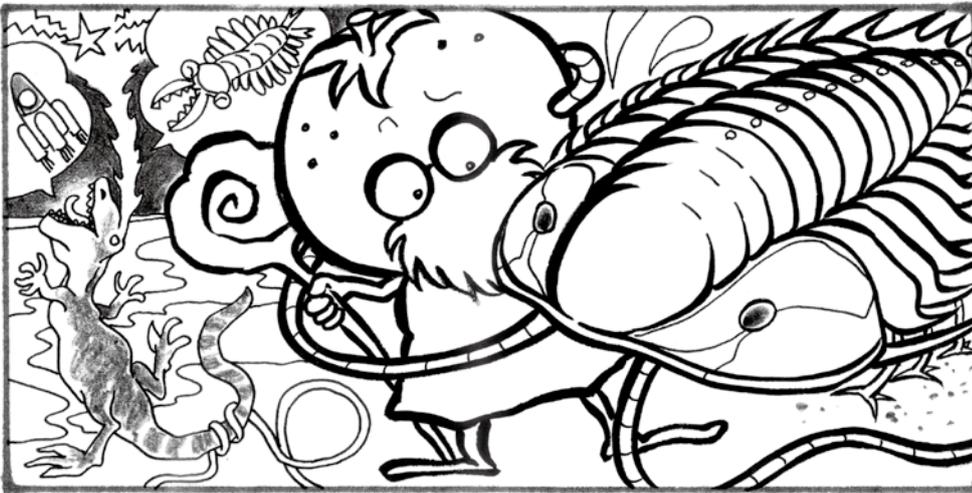


まちがいがなし

左右の絵を見くらべて、まちがいを8カ所見つけてね。全問正解された方のうち、抽選で10人の方に図書カードもしくはフオカードをプレゼントします。

応募締切 4月15日(水)

とうふねこ座：市川雅子 画



秘書広報課 ☎66♦1145

応募方法

ハガキまたはファクスに、①答え(左の絵に○をつける)②住所③氏名(ふりがな)④年齢⑤電話番号⑥広報紙の感想(ご意見など)を書いて秘書広報課(〒443-8601 FAX 66♦1190)へ。なお、当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。

蒲郡のふしぎ話

『三葉虫と恐竜』生命の海科学館

蒲郡ミカンの木から、ミカンが1個ポロンと落ちて、ミカン仙人にハンシーン!
「暖かくなつたじゃん。ん?どこからか音楽と子どもの声が聞こえるぞ。おい、雲!」
飛んできたわた雲に乗って「あつちへ出発!」

ミカン仙人がたどり着いたのは生命の海科学館。閉館間際、係員に説明を受けていた小学生が帰るところ。
「科学館面白かった?」

「うん、三葉虫触っていいよ。」

「いいよ。あ、そつだ、知ってる?夜になると、この三葉虫が動いたり、池にいる恐竜の目が赤く光るんだよ。」
「えっ?」出した手をひゅつと引っ込める小学生を見て係員がにやり。

「あ、閉館時間だ。また来てね。」

「えっ?見たい!!でももう帰らなきゃ。あれ?みかん?」

「ほほほ、わしが見といてあげらー」
帰る小学生と入れ違いにミカン仙人は科学館に潜入。

「だーれもいなくなった夜中の科学館。ミカン仙人が2階へ上がっていくと、ガサゴソ何か動く音がする。プラスチックケースの中からたー恐る恐るのぞいてみると……
化石の三葉虫が動いている!

ガサゴソ、ゴツチン・ヨロヨロ・ヨタヨタ、ゴツテンとひっくり返ってバタバタバタ
ミカン仙人が起こしてあげると、とげのある足でホジホジ。

「おいおい三葉虫、何を捜してるんだん?」

「きゃー!みかんがしゃべったあ!びっくりしたあ!」
「わしもびっくりしたわ、わしはミカン仙人じゃ」

「ほくはオレノイデス、三葉虫の一種だよ。地面をほじってごちそうを探してるんだ、もう4億年も食べてないもん。じゃ、忙しいから」
プラスチックケースの中でガサゴソホジホジ「こは硬いなあ」

ミカン仙人がわた雲に乗って池に来ると、真っ暗な空へ赤い目をチカチカして踊っている恐竜がいる。なにやら話しているようだ。

「はい、わしはミカン仙人じゃが、何やつとるんだん?」
「はい、今ね、あの星の宇宙人と話していたんだぜい、カッコイイだろ」

ミカン仙人は赤目恐竜と宇宙人の広大な話を夜明けまで聞いたんだつてき。



◆2月号の答え

2月号クイズまちがいがなし(ねじゃかさん⑪)の当選者
応募総数60通
正解者51人
当選者(敬称略・50音順)
豊岡町 大場邦弘
三谷町 小笠原 誠
竹谷町 荻野智美
拾石町 木俣とみ子
旭町 佐々木胆造
西浦町 鈴木正敏
相楽町 鈴木美由華
竹谷町 古川清華
宝町 宮崎はるみ
西浦町 山口美代子
おめでとうございます。賞品は4月初旬に発送します。